

## 紅葉・黄葉 (ムクロジ科他)

カエデ園の紅葉が始まっています。約50種類と種類が多いので、色づいていないものもありますが、全体的に色づき始めています。落ち葉を踏みしめながら紅葉の木々の間を散策してみるのはいかがでしょうか。また、ロックガーデンのサラサドウダンツツジや芝生広場のイチヨウなども色づいています。

## アロエ・カルカイロフィラ (ススキノキ科)

マダガスカル原産のアロエの仲間、石灰岩の多いところに生えています。花茎を伸ばして、蕾の頃には赤みを帯びていますが、開くと白色の壺状の花になります。

## クリスマス飾るフラワー展

シクラメンやポインセチアなど、クリスマスに因んだ植物や飾り方を紹介します。

## 桃色イペー

(ノウゼンカズラ科) メキシコから南米にかけて分布する高木で、冬季に落葉し、桃色の花を鐘状の花をボール状につけます。ブラジルの国花にもなっています。彫刻や建材用として利用されており、個体数が減少しています。

## サルビア・レウカンサ (シソ科)

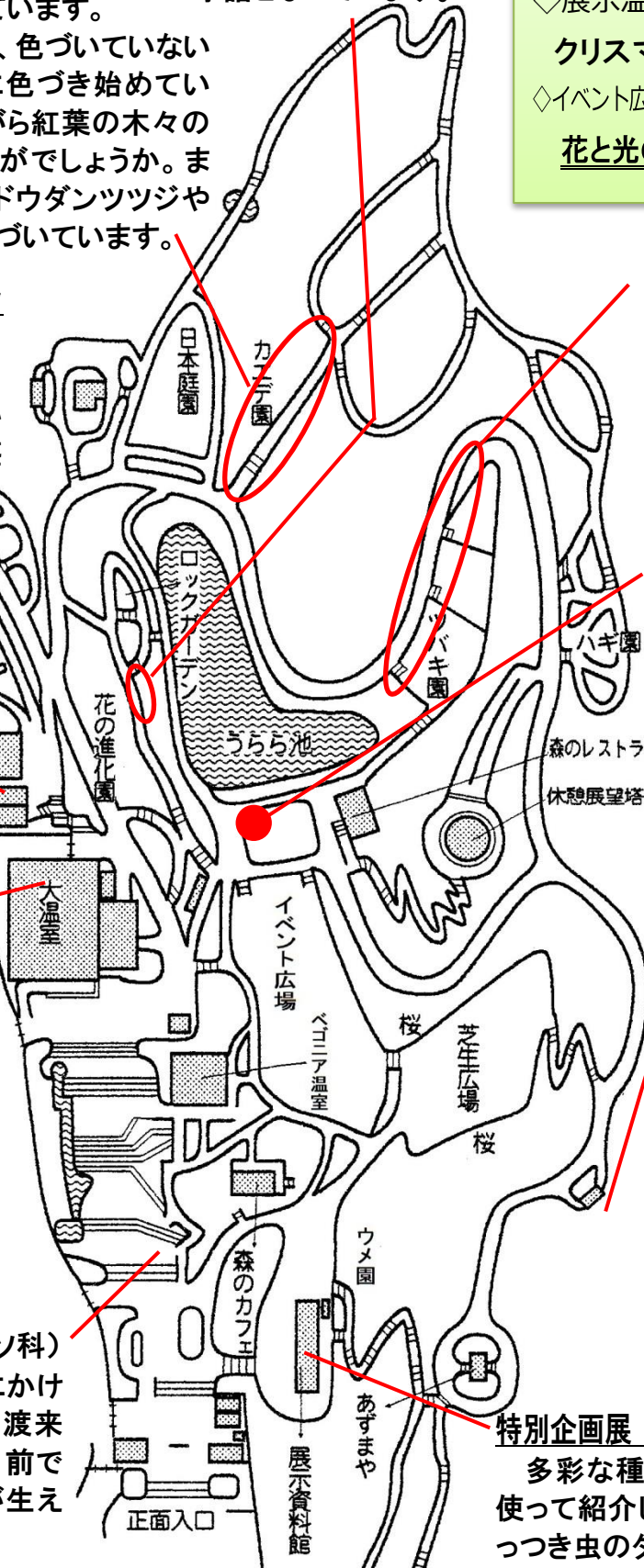
メキシコから中央アメリカにかけて分布しており、明治後期に渡来し、アメジストセージなどの名前で流通しています。花に軟毛が生えていることが名前の由来です。

## ツワブキ (キク科)

常緑の多年草で、葉柄は食用となります。毎年秋～冬にキクに似た黄色い花をつけます。立冬から大雪の前(12/7頃)までの俳句の季語となっています。

## 展示会のご案内

- ◇展示資料館 1F (10/19~12/24)  
特別企画展 種子の不思議展
- ◇展示温室(11/23~12/25)  
クリスマス飾るフラワー展
- ◇イベント広場他(11/23~12/22までの土日)  
花と光のページェント(夜間開園)



## フウ (フウ科)

落葉高木で、街路樹、公園樹などに利用されています。果実は棘のある球状の集合果で落ちているのをよく見ることができます。

## 野生ギクの花壇

本園の野生ギクの多くは、広島大学植物遺伝子保管実験施設[キク属のバイオリソースセンター]から譲り受けたものです。今回は特設花壇を設け、キクタニギクなど18種の野生ギクを展示しています。多様に進化した花姿を観察してみてください。

## セイヨウヒイラギ

(モチノキ科) 英語ではホーリー(Holly)と呼び、赤い実のついた枝はクリスマスの装飾に用いられます。雌雄異株ですが、単為結果するので、雌株のみで実がつきます。モクセイ科ではなくモチノキの仲間、ヒイラギモチとも呼ばれます。

## 特別企画展 種子の不思議展

多彩な種子の秘密を実物やパネルを使って紹介します。種子が飛ぶ様子やひつつき虫のダーツなどが体験できます。